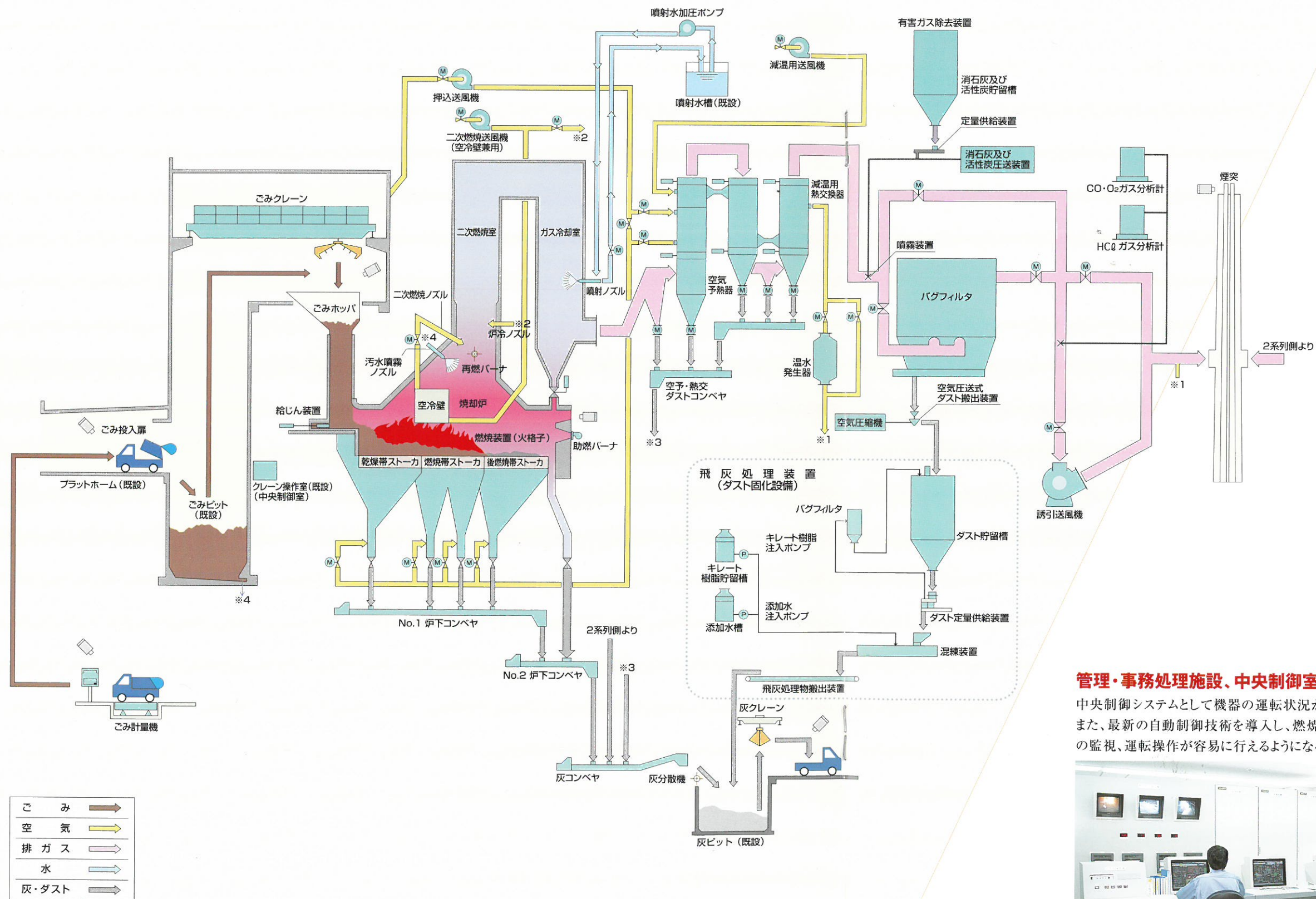


高度な技術の導入、設備の充実を図り、 燃焼、排気、排ガスの処理能力を大幅にアップ。



ゴミの流れ

搬入された可燃ごみは、計量後直接ごみピットに投入されます。ごみピットに貯留された可燃ごみは、ごみクレーンで攪拌後ホッパに投入されます。ホッパに投入されたごみは、給じん装置により定量的に焼却炉のストーカ上に供給され、反転・攪拌を繰り返しながら乾燥・燃焼し完全に焼却されます。

灰の流れ

完全燃焼後の灰は、炉下コンベヤ・灰コンベヤを経て灰ピットに送られます。灰ピットに貯留された灰は、ダスト固化物とともに灰クレーンで灰搬出車に積み込まれ、適宜搬出されます。

空気の流れ

燃焼用空気は、ごみピットより押込送風機によって吸引され、燃焼用空気予熱器で予熱された後炉下から炉内へ供給され、ごみの乾燥・燃焼に使用されます。二次燃焼用空気は、専用の送風機とノズルによって高速で炉出口に吹き込まれ、燃焼ガスと二次燃焼空気を効率良く攪拌し完全燃焼を行います。

排ガスの流れ

ごみの燃焼により発生した排ガスは、ガス冷却室、燃焼用空気予熱器および減温用熱交換器を経た後、消石灰と活性炭噴霧により有害成分が吸着・除去されます。バグフィルタでは、排ガス中のダストを除去すると同時に、有害ガス処理によって生じた副生成物が捕集・除去されます。処理された排ガスは、誘引送風機により吸引され、煙突から大気中に放散されます。

飛灰の流れ

バグフィルタで捕集された飛灰は、ダスト搬出装置によってダスト貯留槽に一時貯留され、混練機により薬剤混合後灰ピットに貯留されます。灰ピットに貯留されたダスト固化物は、灰と同様に適宜搬出されます。

管理・事務処理施設、中央制御室

中央制御システムとして機器の運転状況が一目でわかり、また、最新の自動制御技術を導入し、燃焼管理や各設備の監視、運転操作が容易に行えるようになっています。

